

大平原狗鷲旗全道高等学校剣道大会感染予防対策ガイドライン

十勝青少年武道推進協議会

1 入場制限

①会場に入場できるのは、IDを持っている選手、監督、役員、審判のみとする。

②受付時に検温を行い37.5度以上ある者は、入場できない。

2 提出物

①各学校は、錬成会・大会当日保護者の「大会参加同意書」を提出する。

②当日提出された保護者の「大会参加同意書」は、主催者が1ヶ月以上保管する。

3 参加の可否

①学校長の許可を取った上で参加する。

②保護者の「大会参加同意書」の提出がない者は参加する事ができない。

③過去2週間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等をした者、当日の検温で熱が37.5℃以上ある者は参加する事ができない。

4 競技場内

①競技場には、試合チームと次のチーム以外は入場できない。

②各試合会場に必ずアルコール消毒液を置き、選手、審判、関係者が使用できるようにする。

③選手は、試合会場では、試合時（面マスクを使用）を除いて、常にマスクを着用する。審判員及び役員はマスク、係員は、マスク及びフェースシールドを着用する。

④定期的に換気を行う。

5 試合前

①選手並びに関係者は、自宅と大会会場との往復の際にはマスクを着用し感染予防に努める。

②着替えの際は、大会会場内での密集を避けるため、できるだけ着替えを行った上、入場する。

③当日の練習時間は参加校が決定次第、割り当てをして密集しないよう行う。

④選手は、指定された場所に待機する。

6 試合中

①選手は、試合時には面マスク、マウスガードを必ず着用すること。また、待機中試合時以外でもマスクを着用する。

②審判・大会役員、監督も必ずマスクを着用する。また、各自の審判旗を持参して使用する。各試合会場の審判員控え席にアルコール除菌液を設置し、手指消毒を行う。

③応援はできる限り「拍手のみ」で行う。

7 試合後

①試合が終了したら「手洗い」、「うがい」、「アルコールによる手指消毒」を徹底する。

②選手は必ずマスクを着用する。

③試合が終了したチームは、速やかに競技場から離れる。ただし、入賞したチーム・選手は、表彰式後に帰宅する。

④自分のチームの試合が終了した後はできる限り早く競技場内、会場内から離れる。

8 その他

①大会終了後は、使用した場所・用具の除菌作業やごみの処理を徹底する。

②大会中に発熱等の症状が見られた場合は、監督が保護者に連絡をして帰宅させる。

③大会終了後は、監督が選手の健康状態の経過観察を一定期間（2週間が目安）行う。

